

基本目標 7 市民とともにつくる持続可能なまち

- ICT化を進めるとともに、民間活力を生かしたスピード感のある効率的な行政運営を目指します。
- 地域の魅力を発信し、住みたいまち、選ばれるまちを目指します。
- 対話や信頼関係に基づき、住民や自治組織と行政が共創するまちづくりを目指します。

3つのチャレンジ

継承	●共創のまちづくりの基盤となる自治組織の存続と担い手育成
進化	●SNSやインターネットを効果的に活用した広報広聴 ●オンライン申請、AIやRPA（※）の導入などによる業務効率化 ●職員の働き方の推進
学びと行動	●地域資源や課題の見える化と共有の場づくり ●自助・互助（住民）、共助（共創）、公助（行政）の役割の理解とまちづくりへの協働・参画意識の向上

※RPA…Robotic Process Automationの略。ソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること。

基本施策

13 未来志向型の行政経営を行うまちづくり

施策35 広聴・広報の充実



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策の目指す姿

- 市民との対話や、市民アンケート、各種調査などで市民の幅広い意見や、日頃感じていることなどの情報を集め、行政情報を分かりやすく提供できるまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民取組指標	広報須坂や市ホームページ、市公式SNS等の市広報媒体を通じて行政情報等を入手している人の割合（%）	69.0（2025）※	90.0

※現状値は「広報須坂」を読んでいる人の割合

◆現状と課題

- ☞ 広報須坂、市ホームページだけでなく、Xやフェイスブック等のSNS活用についても職員が高い意識を持つことが必要です。また、SNSによる行政情報を市民が取得しやすい環境を整えることが必要です。

◆施策の取組方針

- ☞ 市が知らせたい情報と住民の求める情報を積極的に発信します。
- ☞ X・フェイスブックなどの市公式SNSを市民等にPRするとともに、内容を充実させます。
- ☞ 職員のSNS活用の意識向上を図ります。

◆主な取組内容

政策推進課

取組項目	具体的な内容
広聴の充実	◇ 市長への手紙や市ホームページ、地域づくり市民会議などを通じて、幅広くご意見やご要望を聴取
広報の充実	◇ SNSを活用した効果的な情報発信 ◇ 見やすいホームページの作成 ◇ ホームページアクセシビリティ（様々な閲覧環境対応性の向上） ◇ 読みやすい広報紙の制作 ◇ パブリシティの積極的な実施 ◇ 災害時の迅速で正確な広報 ◇ 市公式 SNS のPR ◇ 職員を対象にした SNS 研修の開催

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市公式ライン登録者数（人）	3,403（2024）	5,500
市公式Xのフォロワー数（人）	10,585（2024）	12,000
市公式フェイスブックのフォロワー数（人）	1,869（2024）	2,500
市公式Instagramフォロワー数（人）	777（2024）	1,800

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	スマートフォンなど ICT を活用し、市の情報を入手する環境や意識の向上に努めます
企業	SNS を活用した情報提供等を通じ、企業間や市民、行政とのコミュニケーション作りと情報拡散に努めます
活動団体	SNS を活用した情報提供等を通じ、活動団体相互や市民、行政とのコミュニケーション作りと情報拡散に努めます

施策36 D Xの推進



施策の目指す姿

●市民のニーズや職員の負担軽減のため、行政手続き等のオンライン化等、ICTによるデジタル化をより一層進め、利便性の向上を目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民意識指標	「DXの推進」の満足度（%）	20.6(2025)※	30

※ 現状値は「ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用」の満足度

◆現状と課題

- ☞ 行政手続き等のオンライン化等、ICTによるデジタル化をより一層進めていく必要があります。
- ☞ 市民のニーズを把握し、ICTによる利便性の向上を目指していく必要があります。

◆施策の取組方針

- ☞ DX推進計画に基づき、市民サービスの向上や効率的な行政運営を図ります。
- ☞ 市民のニーズに合わせた情報発信やオンライン申請対応、他の施策を推進する上での手段等としてICT活用を促進します。
- ☞ 行政と地域の総合的な情報化や官民によるデータ活用を推進します。
- ☞ 常に先進事例の情報収集に努めます。
- ☞ 情報セキュリティにおいては、業務の効率化を考慮しながら、国でのセキュリティ対策に関する最新動向を参考にしながら適切な対策に取り組みます。

◆主な取組内容

政策推進課／総務課

取組項目	具体的な内容
利便性の向上と業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ◇オンライン申請への積極的対応等、ICTによる行政サービスの向上 ◇マイナンバーカードの更なる利活用方法の検討 ◇業務効率化ツール等、新たなICTやAIの研究、活用 ◇国の提供予定のデータ基盤の活用検討
情報セキュリティ対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇個人情報等のセキュリティ確保を担保した業務効率化の推進 ◇情報セキュリティに係る研修を通じた職員の意識啓発 ◇国の動向を踏まえたセキュリティに関する方針の定期的な見直し

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
電子申請の利用件数の累計（件）	49,184 (2020-24)	55,000
個人情報保護・情報セキュリティ研修のテスト合格率（%）	90.0（2024）	100

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	ICTの利活用に慣れるとともに、情報収集やオンライン手続きを積極的に利用します 今後、各種サービスとの紐づけに重要となるマイナンバーカードとマイナンバー関連の動向に関する情報把握に努めます
企業	税の申告などを含めた市の手続きにあたっては、オンライン申請の利用を積極的に行います
活動団体	市の手続きにあたっては、オンライン申請の利用を積極的に行います

施策37 ▶ 長期的展望に立った行財政運営



施策の目指す姿

● 財政状況の長期展望を踏まえた上で、市税等の自主財源をはじめ、あらゆる財源の確保に努め、収支バランスの取れた財政運営がされているまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
統計指標	経常収支比率（※）（％）	94.7（2024）	100.0未滿

※ 経常収支比率…人件費や扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源等の合計額に占める割合。一般に、数値が低いほど、財政の弾力性が高いことを示し、数値が高いほど財政が硬直化していることを示す。

◆現状と課題

- ☞ 財政健全化の指標である実質公債費比率（※1）と将来負担比率（※2）は、黄色信号である早期健全化基準（※3）を大きく下回っており、健全財政を維持していましたが、ふるさと納税返礼品の産地偽装問題に伴い、今後ふるさと応援寄附金を財源として、見込めない状況にあることから、現在の財政規模を大幅に縮小し、中・長期的な視点で財政状況の回復に取り組む運営が必要な状況です。
- ☞ これまで安心・安全なまちづくりを目指して、公共施設の耐震化に取り組んできた結果、公債費は増加傾向であり、基金残高は減少傾向であることから、将来に向けて、更なる財源の確保や、経常経費を含めた事業見直しなどの歳出削減が必要な状況です。
- ☞ 須崎市滞納整理対策チャレンジプランにより滞納整理を進め、収入未済額の削減に努めているほか、活用見込みのない市有財産の処分や、国・県・各種団体の助成を積極的に活用して財源確保に努めていますが、恒常的な財源である市税収入の増加が重要な課題となっています。
- ☞ 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の適正配置や活用、効率的な維持管理を行っていますが、30年以上経過している施設の割合が増加しており、施設の老朽化が課題となっています。
- ☞ 限られた人材で地方自治を担うための職員のスキルアップや組織体制の整備、評価制度の構築をどのように進めていくかが課題となっています。
- ☞ 業務の見直し及び効率化のため、職員一人ひとりの業務の可視化、マニュアル化に向けた手法が求められています。

※1 実質公債費比率…地方公共団体が負担する負債返済額が、地方税や普通交付税を中心とする一般財源の規模に占める割合。

※2 将来負担比率…地方公共団体が将来負担すべき負債残高が、地方税や普通交付税を中心とする一般財源の規模に占める割合。

※3 早期健全化基準…実質公債費比率：25.0％、将来負担比率：350.0％

◆施策の取組方針

- ☞ 主たる財源となっていたふるさと応援寄附金が見込めない状況に加え、物価高騰の影響など、大変厳しい財政運営となることを見据え、一層の行財政改革推進と財務体質の改善を目指すために策定した須坂市行財政改革プラン2030を推進し、財政の健全化と市民サービスの維持向上を進めます。
- ☞ 優先順位や費用対効果などを検討し、歳出削減・節減に向けた事務事業の見直しを行います。
- ☞ 活用見込みのない市有財産について、積極的に処分を進めます。
- ☞ 公共施設等総合管理計画、個別施設計画を見直すとともに、施設の利用状況、管理経費、老朽化などを十分考慮し、統廃合を含めた施設の適正配置、長寿命化などに取り組みます。
- ☞ 業務の効率化、経費削減と職員の負担軽減、ワーク・ライフ・バランス、在宅勤務など新たな働き方実現のため、導入経費と効果、維持管理労力などを見極めながら、DXを推進します。
- ☞ 的確な行政事務を推進するため、職員は自ら積極的に知識の研さんに努めます。
- ☞ 市税などの収納環境の充実・拡充を進めるとともに、公平公正な賦課徴収に努めます。

◆主な取組内容

総務課／財政課／政策推進課／会計課

取組項目	具体的な内容
財政状況の公表	◇他自治体の公表事例等も参考にした、わかりやすい財政状況の公表
予算編成への市民参加	◇議会や、各種団体・市民との懇談会等で出された意見等の予算への反映
健全財政の継続	◇健全化判断比率に関する適正数値（早期健全化基準以内）の維持
歳入の確保	◇活用する見込みのない普通財産の処分 ◇公共施設の使用料など受益者負担の適正化 ◇国、県、民間の補助金や事業など外部資金の効果的な活用 ◇インターネットオークションを活用した不用物品の売却
歳出の節減	◇事務事業評価等を活用し、優先順位を明確にした、費用対効果による事業の取捨選択 ◇定型業務の見直しやDXの推進による経費節減
公共施設など行政が持つ財産の総合的管理の推進	◇公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく、公共施設の適正配置に向けた廃止、統廃合の推進 ◇公共施設の長寿命化・効率化・省エネルギー化などによる管理経費を抑えた施設維持管理の推進 ◇公共施設の適正配置に向けた職員向け公共施設マネジメント研修会の実施
業務の成果向上と効率化の推進	◇5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣）の徹底 ◇職員提案制度の実施や業務可視化による作業レベルでの効率化 ◇行政評価による施策及び事業の成果及び課題的確な把握と公表 ◇行財政改革プラン2030に基づく行財政改革の推進 ◇組織単位にとらわれない横断的な視点を持った行政運営

取組項目	具体的な内容
一人ひとりの職員が能力を発揮し、自己実現できる職場づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 総合計画の施策推進に向けた組織目標及び個人目標の設定や柔軟な役割分担、密接な職場内コミュニケーション等による職員の主体的な業務推進 ◇ 市民サービスの向上や業務改善と職員の意識啓発とを結びつける体制や仕組みの構築 ◇ DXによる事務負担の軽減と、より職員が達成感を得られる業務に注力できる環境、体制の整備
市が目指す職員像「すすむ・かわる・つなぐ」を実現する人材の育成とキャリア開発支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 人事戦略基本方針に基づく、人材育成プログラムの整備とマネジメントスキルの向上 ◇ 職員自身のありたい姿（WILL＝自分理念）、やるべきこと（MUST＝ニーズ）、やれること（CAN＝技術力）を重ね、職員の成長実感を醸成し、自律的なキャリア開発を促進 ◇ 自主的学習の支援の拡充や地域貢献活動応援制度の推進 ◇ 職場の活性化を実現するため、戦略的な人事管理と人事配置の実施
健康経営の推進と両立支援のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 健康経営の推進とハラスメント防止対策の強化 ◇ 仕事と家庭生活の両立支援のため、「お互いさま」が言い合える職場環境の整備 ◇ 時差出勤・テレワーク・勤務間インターバル制度等の導入による多様な働き方の推進
選ばれる組織に向けた魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「選ばれる組織」へ向け、広く情報発信し、市に愛着を持った人材を確保 ◇ 小中高生への市職員の仕事の魅力をアピールする機会の充実やホームページやSNSを活用した積極的な魅力発信 ◇ 時代に対応した試験制度や試験方法を見直し、多様な経験や知識・技能、専門性を有する幅広い人材を活用
DX人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 未来志向型の行政経営を行うまちづくりの実現に向け、人材育成部門、行政改革部門、デジタル活用推進室との緊密な連携 ◇ 専門性の高いデジタルスキルの取得を目指した職員研修の充実
将来像の実現に向けた柔軟な取組	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 市を取り巻く社会や経済状況に合わせた、将来像実現のために必要となる施策の柔軟な推進 ◇ 行政評価（施策評価及び事務事業評価）におけるPDCAサイクルを用いた十分な効果検証と見直しの実施
連携中枢都市圏の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 長野市を中心とした長野地域の市町村と生活、福祉、交通、観光など様々な分野でスクラムを組み、圏域全体の活性化を推進

税務課

取組項目	具体的な内容
収納環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 口座振替やコンビニ収納、地方税共通納税の推進など、収納環境の充実
収納体制及び対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 須坂市滞納整理対策チャレンジプランによる滞納者の実態を踏まえた滞納整理と進行管理の実施 ◇ 滞納整理状況の市民周知を通じた納税意識の向上と啓発の実施 ◇ 職員の徴収知識・ノウハウ研鑽のための研修会実施

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市税徴収率(滞納繰越分を含む) (%)	98.7 (2024)	98.9
実質公債費比率 (%)	8.3 (2024)	12.0未満
将来負担比率 (%)	- (2024)	30.0未満
長野地域連携中枢都市圏が実施する事業に取り組んだ累計数 (件)	52 (2024)	60
職員のワークエンゲージメント調査における「自己成長実感」の肯定回答率 (%)	70.4 (2024)	75

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	市の財政状況等に日頃から関心を持ち、納税意識の向上に努めます
企業	市の財政状況等に日頃から関心を持ち、納税意識の向上に努めます
活動団体	共創や自助による活動意識の向上に努めます

施策38 ▶ 移住定住の促進及び若者の結婚支援



施策の目指す姿

- 県内外の移住定住希望者の様々なニーズに応えられるよう、情報発信、相談体制や受け入れ体制を充実させ、更なる移住定住者が増えるまちを目指します。
- 若い世代の結婚希望者が結婚しやすいまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
統計指標	行政のサポートによる移住者数の累計(人)※	253	275
統計指標	市の結婚支援を通じた成婚数の累計(件)※	13	15

※ 現状値は2020～2024年度の累計。目標値は2026～2030年度の累計。

◆現状と課題

- ☞ 定期的に開催している銀座NAGANO移住相談会をはじめ、他団体の移住セミナーや相談会にも参加し、移住希望者へのアプローチの機会を増やす必要があります。
- ☞ 「移住支援信州須坂モデル※」について、移住希望者に必要な情報の質・量を向上させていく必要があります。
- ☞ 須坂市の認知度向上、移住定住者の増加を図るため、SNSやWeb等を活用した効果的な情報発信が重要になります。
- ☞ 結婚を希望している若者が数多くいるが、なかなか結婚まで結びつかないという現状があります。

※ 移住支援信州須坂モデル…「移住相談」「移住体験ツアー」「仕事・住居紹介」などを一体的に提供する仕組み。

◆施策の取組方針

- ☞ 他団体の移住セミナー・相談会への参加、また移住相談を対面だけでなく、オンラインを効果的に活用した相談も実施します。
- ☞ SNSやWebを活用した移住関連情報を発信して移住体験ツアーにつなげます。
- ☞ 移住希望者への情報発信について、効果的な発信方法の研究と随時のバージョンアップを実施します。
- ☞ 結婚を希望する若者を主対象に、ながの結婚マッチングシステムの登録支援をするとともに、交流の場などの情報を提供します。
- ☞ 若者が将来に希望を持ち、自分らしい人生設計（ライフデザイン）を描けるようにサポートするセミナーを開催し、結婚への機運醸成を図ります。

◆主な取組内容

政策推進課／まちづくり課

取組項目	具体的な内容
県内外からの移住定住の促進、受入体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇庁内連携による「移住支援信州須坂モデル」の充実 ◇移住希望者のニーズに応えるオーダーメイド型移住体験ツアーの充実 ◇オンラインも活用した移住相談の実施
移住定住先としての知名度向上	◇SNSや動画などを効果的に活用した情報発信
若者の結婚支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇結婚希望者が気軽に参加できる交流イベントなどの情報提供 ◇若者向けライフデザインセミナーの開催 ◇ながの結婚マッチングシステムの登録支援

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
移住相談会(オンラインを含む)の相談件数の累計(件)※1	524	750
移住体験ツアー参加人数の累計（人）※1	93	100
ながの結婚マッチングシステムへの新規登録者数の累計（人）	23※2	100

※1 現状値は2020～2024年度の累計。目標値は2026～2030年度の累計。

※2 2025年3月31日現在の登録者数。

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	移住者の受入支援や理解に努め、受入れに対する地域の担い手となります 結婚支援に関する各種講座やイベントへの参加について、知人等への情報提供を積極的に行います
企業	移住者受入協力企業として、就労面での移住者の受け皿を担います 結婚支援に関する各種講座やイベントへの参加について、従業員等への情報提供を積極的に行います
活動団体	移住検討の際の就業相談や住居に関する相談など、移住者の受入れ支援の担い手となります 結婚支援に関する各種講座やイベントへの参加について、会員等への情報提供を積極的に行います

施策39 ▶ 協働・市民参画の推進



施策の目指す姿

- 市民、活動団体、民間企業など地域で活動している様々な組織や個人が、行政と協力しながら主体的に地域の課題解決に取り組むまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
市民取組指標	「自治会活動に参加している」人の割合（%）	39.7（2025）	40.0
市民取組指標	「市民として、さまざまな形で市政（須坂市のまちづくり）に参加している」人の割合（%）	17.5（2025）	20.0

◆現状と課題

- ☞ 少子高齢化に伴う人口減少や生活習慣の多種多様化などにより、自治会活動は減少・縮小傾向にあり、「自分たちの暮らす地域は自分たちでつくる」という共助の意識醸成を図ることと、負担感の少ない区運営が図られるような支援体制や仕組みづくりが必要となっています。
- ☞ 地域コミュニティの中心となる区における役員のなり手不足が深刻化しています。
- ☞ 協働による事業は、市の各分野で実施されていますが、多様な活動主体の把握や一元化がされていない現状です。

◆施策の取組方針

- ☞ 地域の課題解決をより効果的かつ効率的に行うため、地域における「共助」の意識醸成を図ります。
- ☞ 「自助」「共助」「公助」による協働のまちづくりの推進を浸透させ、市民自らの主体的な行動を促します。
- ☞ 区役員のなり手不足など、区運営の困難さに対しては抜本的な見直し等も含め、解決に向けた相談・支援を行っていきます。
- ☞ 市から依頼する審議会などの各種委員等は選出方法を見直し、区役員の負担軽減を図ります。
- ☞ 市民との協働による事業や多様な活動主体に関する情報提供を積極的に行います。

◆主な取組内容

(1) 多様な活動主体の参画による地域社会づくり

市民課／生涯学習推進課及び全課

取組項目	具体的な内容
地域で活動している様々な組織や個人にかかる支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇各種団体等における活動の輪を広げることや、市民の活躍の場を確保するための周知啓発 ◇SNS等を通じた各所管による地域貢献事例等の情報発信
地域づくり活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域公民館を拠点とした各町の公民分館や、地域づくり推進委員会の地域づくり活動に対する支援 ◇人口減少や高齢化等による担い手不足、活動の衰退など、地域が抱える課題の解決に向けた支援

(2) 地域コミュニティの活性化

市民課及び全課

取組項目	具体的な内容
区及び区長会活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇区長と市長との意見交換会等、様々な機会を通じた地域と行政の情報共有の促進 ◇自治会間の連携・情報共有の促進 ◇地域コミュニティの活性化のための補助金交付や各種助成事業の申請支援 ◇審議会等各種委員の選出方法の見直し ◇配付文書の縮減や市へ提出する各種様式データの集約化による事務負担軽減
地域課題への取組に関する啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◇区との連携により地域課題に取り組む活動の周知啓発 ◇SNS等による情報発信と情報共有の推進

【プロセス指標】

指標名	現状値（年度）	目標値（2030年）
地域の課題解決に向けた様々な組織と行政による会議等の開催数（回／年）	27（2024）	30

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	市政への関心を高めるとともに、自らが住みよい活力あるまちづくりに主体的に取り組めます
企業	地域活性化のため行動するとともに、より良い地域づくりのため、地域や社会の課題解決に取り組めます
活動団体	地域課題の発見と解決に向けて主体的に取り組めます